

高知県立牧野植物園が富士産業と有用植物資源に関する包括的共同研究契約を締結
～四国自生種を中心とした植物資源から有用素材を探索し、製品化を目指す～

令和3年8月24日

富士産業株式会社

公益財団法人高知県牧野記念財団



高知県立牧野植物園（所在地：高知市、園長：川原信夫、以下「牧野植物園」）は、富士産業株式会社（本社：丸亀市、代表取締役：岡田篤典、以下「富士産業」）と7月27日、四国自生種を中心とした植物資源から有用素材を探索し、新製品開発につなげるための包括的共同研究契約を締結いたしました。

1. 契約締結の背景

富士産業は、香川県丸亀市に本社をおき、自然素材にこだわった研究開発から独自の機能性を見出し、生活者の健康と美の悩みに応える製品の開発を行っています。開発された製品は健康食品、ヘアケア、スキンケアといった幅広い領域にわたり、自社通信販売サイト（ウェルベスト）により提供しています。

一方、牧野植物園は、高知県高知市に位置する植物園であり、研究型植物園として植物分類学、植物生態学、植物資源学の研究員を中心として、国内国外の野生植物の調査・収集・保全・資源探索・試験栽培などを行っています。

今回、同じ四国地域を拠点とする企業・植物園としてお互いに手を取り合い、牧野植物園が有する四国自生種を中心とした植物情報知見と富士産業の持つ研究開発力を提供し連携することで有用素材の探索を行い、新たに見出した機能を活用した新製品開発を目的として、包括的共同研究を実施することにいたしました。

2. 共同研究の概要

本共同研究を通し、牧野植物園が有する四国自生種を中心とした植物資源および植物学知識を基に、富士産業がその機能性を幅広く科学的に評価し、新たな有用素材を探索いたします。見出した有用植物素材を活用して、健康食品、ヘアケア、スキンケアなどの美の悩みが解決できる新製品を開発するとともに素材植物の試験栽培にも取り組み、持続可能な開発を通して地域に貢献してまいります。

3.富士産業株式会社について

香川県に本社を置き、「科学的裏付けのある自然素材を悩みの解決法と共に提案したい」の理念のもと、生活者の健康と美の悩みに応える独自性のある製品の開発を行っています。1967年に京都市立京都衛生研究所・藤原博士の指導を受け、にんにくの液状化に日本で初めて成功し、この技術を発展させた製品開発で健康総合メーカーとしての地位を確立させました。自社研究所で基礎研究から新製品開発を行い、血糖値や尿酸値、睡眠の質に着目した機能性食品やエイジングに着目した化粧品など、自然素材を活かした製品開発の実績を持っています。

【ウェルベスト サイト URL】 <https://www.wellbest.jp/>

4.高知県立牧野植物園について

高知県出身「日本の植物分類学の父」牧野富太郎博士の業績を顕彰するため、博士逝去の翌年、1958年4月に高知市の五台山に開園しました。五台山という恵まれた自然環境に調和した園地は、四国唯一の公開植物園であり、博士ゆかりの野生植物など3,000種類以上が四季を彩る憩いの場として親しまれています。国内・国外を問わず様々な野生植物の収集・保全・分類に貢献しており、高知県全域の植物分布の調査活動をまとめた高知県植物誌やミャンマー国ナマタン国立公園の植物目録の刊行物があります。これまでミャンマーを始めとする海外産植物の資源探索を目的に植物のエキスライブラリーを構築してきましたが、高知・四国自生植物のエキスを新たに追加し、エキスライブラリーの充実を図っていきます。

【ウェブサイト URL】 <https://www.makino.or.jp>

5.今後の研究活動について

現在、高知・四国自生植物の採集、エキス作成を随時行っています。活性が認められた植物は、商品化を目指すとともに試験栽培にも取り組み、持続可能な開発を進めていく予定です。

<本件に関するお問い合わせ先>

富士産業株式会社 研究開発センター

担当：野口和真

TEL：0877-25-3221

E-mail：noguchi@fuji-sangyo.co.jp

公益財団法人高知県牧野記念財団

担当：植物研究課 松野倫代

TEL：088-882-2601

E-mail：matsuno@makino.or.jp

以上